

製造間接費 第4問 問題

次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。

(資料)

- 当工場の月間の実際的生産能力、平均操業度、および期待実際操業度は、それぞれ 10,000 直接作業時間、8,500 直接作業時間、9,000 直接作業時間である。
- 当工場の月間製造間接費予算は、次のとおりである。

直接作業時間	8,500 時間	9,000 時間	9,500 時間	10,000 時間
製造間接費予算	1,020,000 円	1,062,000 円	1,100,000 円	1,140,000 円

- 当月の実際直接作業時間は 8,800 時間であった。
- 当月の製造間接費実際発生額は 1,040,000 円であった。

- 問1 基準操業度として、①実際的生産能力、②平均操業度および③期待実際操業度を選択する場合のそれぞれについて、予定配賦率を計算しなさい。
- 問2 基準操業度として、①実際的生産能力、②平均操業度および③期待実際操業度を選択する場合のそれぞれについて、予定配賦額と製造間接費配賦差異を計算しなさい。なお、製造間接費配賦差異の()には、有利差異には「貸」、不利差異には「借」と記入すること。

問1

①	②	③
円/時間	円/時間	円/時間

問2

	予 定 配 賦 額	製 造 間 接 費 配 賦 差 異
①	円	円 ()
②	円	円 ()
③	円	円 ()

製造間接費 第4問 模範解答

問1

①	②	③
114 円/時間	120 円/時間	118 円/時間

問2

	予 定 配 賦 額	製造間接費配賦差異
①	1,003,200 円	36,800 円 (借)
②	1,056,000 円	16,000 円 (貸)
③	1,038,400 円	1,600 円 (借)

【解説】

① 実際の生産能力

予定配賦率 ; $1,140,000 \text{ 円} \div 10,000 \text{ 時間} = 114 \text{ 円/時間}$

予定配賦額 ; $114 \text{ 円/時間} \times 8,800 \text{ 時間} = 1,003,200 \text{ 円}$

製造間接費	
実際発生額	予定配賦額
1,040,000	1,003,200
	配賦差異
	36,800

② 平均操業度

予定配賦率 ; $1,020,000 \text{ 円} \div 8,500 \text{ 時間} = 120 \text{ 円/時間}$

予定配賦額 ; $120 \text{ 円/時間} \times 8,800 \text{ 時間} = 1,056,000 \text{ 円}$

製造間接費	
実際発生額	予定配賦額
1,040,000	1,056,000
配賦差異	
16,000	

③ 期待実際操業度

予定配賦率 ; $1,062,000 \text{ 円} \div 9,000 \text{ 時間} = 118 \text{ 円/時間}$

予定配賦額 ; $118 \text{ 円/時間} \times 8,800 \text{ 時間} = 1,038,400 \text{ 円}$

製造間接費	
実際発生額	予定配賦額
1,040,000	1,038,400
	配賦差異
	1,600